

子育てを共に

No.4

つくしこども園

子どもの心身の達育・発達には著しく、個人差が大きいものです。また、子どもは大人や、他の子どもとの相互作用によって、人への信頼感や自己の主体性を形成していきます。特に子ども同士の相互作用が得られることは、大人相手だけの生活では得られない自己主張や自己統制の必要性を学ぶことは、発達の上で大切なことです。こども園で子ども達は、大勢の友達と色々な体験を通して、たくさんの学習をして大きく逞しく育っていきます。

乳幼児期は、[基本的な生活習慣]を しっかり身につける時期です。

子どもの生活リズムを規則正しく整えてやり、毎日くり返し繰り返す習慣づけていくことが大切です。忙しい大人がみんな揃ってからの遅い[夕食・だんらん]に参加させる事よりも、子どもには早く夕食を食べさせて早寝・早起きをさせる事が大切です。

- 風間元気に遊んでいる子は、夕食を食べるとすぐに眠くなります。
- お風呂に入れて、さっぱりとしたところで気持ちよく寝せてあげましょう。
- 夜の睡眠を十分に取らせてあげましょう。(暗い部屋で10時間)
- 夜(10時頃)眠っているときに、成長ホルモンがたくさん分泌されます。

[子どもの生活リズム=生体リズム]をしっかり作ろう!

- ◎ 早寝(午後8時就寝)
- ◎ 早起き(午前6時起床)
- ※朝、自分自身で目覚めると、機嫌よく1日が送れます。

全家庭で実行しましょう!

朝 おはよう!

- ◎ 親子で気持ちよい あいさつ
- ◎ ゆとりを持って、親子で食事
- ◎ 「元気かな?」朝の健康チェック
- ◎ 機嫌よく登園
- ◎ 保育者にしっかり引き継ぎ
- ◎ 子どもにしっかり関わしましょう!

毎年、幼児誘拐・殺害・不審者の横行、虐待など残虐で悲惨な事件が多発して社会を賑わしています。また、不登校やいじめ、ニート、ストーカー学級崩壊などの問題も、年々低年齢化して増加し、益々深刻になってきています。

非行は、一頃は小学校の問題だったことが、今日では保育園・幼稚園へと降りてきています。その原因は……?と、たどってみると、乳幼児期の子育てに問題があったり、家庭や保育園等での、子どもとの関わりが要因とされております。

大切なお子さんを、長時間お預かりしているこども園は、ご家庭と連携を密に図り、しっかり保育していかねばなりません。

また、未就園児のご家庭にも、保育情報をお届けし、園児同様に健やかな成長を願って応援をして参りたいと思っております。

身近な問題を探ると……

- ◎ 核家族化、密室、孤立長時間育児・閉塞感
- ◎ 母親の放任・養護放棄
 - ・ 基本的な生活習慣がついていない
 - ・ 夜型生活 96.9%
 - ・ ビデオ・TVゲーム・スマホ づけ
 - ・ あいさつができない など
- ◎ 親の92%は、受容とわがママの区別がつかない
- ◎ 子育てできない母親・子どもの接し方が分からない
- ◎ 母親は一生懸命・子どもはよい子(ストレスからのパニック現象)
- ◎ 育児情報過多(何を信じてよいか迷う)
- ◎ 肌の感覚が分からなく、緊張している子(スキンシップ不足)
- ◎ 人の生死に出会う機会がない(病院入院のため)
- ◎ 想像力が働かない
- ◎ 親のわがママ(自分の時間づくり)
- ◎ 過保護・過干渉
- ◎ 思い通りにならない子への怒り(虐待)など

☆ 本当に子どもの幸せを考えるならば、上記の問題点を解決するよう、家族ぐるみで、強い信念を持って取り組むことが肝要です。

- ◎ 愛情を注ぎ、子どもを見守る。
 - ◎ 子どものわがママを通させず、善悪をきっちりと教える。
 - ◎ 規則正しい生活を送らせる。
 - ◎ 身内の冠婚葬祭につき合わせ、喜びや悲しみの体験をさせる。
 - ◎ 病氣見舞いや、死との遭遇等から命の大切さを知らせる。
- など、意識して毎日の子育てに専念しましょう。